



## 《報 告》 「令和 3 年度(2021 年度) 第 3 回全体会」 開催

日 時: 2022 年 3 月 26 日 (土) 14 時~15 時  
場 所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンターおよび  
ZOOM オンライン

参加者: さぼちが会員 13 名

令和 3 年度(2021 年度)第 3 回の NPO サポートちがさきの全体会が開催されました。

内容は、①「ちがさき・さむかわ こどもファンド」について、  
②2022 年度の役員改選についての説明でした。



オープンかつ活発に意見交換が行われ、会員の理解が深まったようでした。また、出席者からこどもファンドについて、「自主的に考え行動する子ども・若ものの育成に役立つ」「地域で子どもたちの生き生き、わくわくを引き出す機会につながる」「少しでもお手伝いできれば」など、こどもファンドに期待する多くの意見が出ました。



## 《報 告》 「令和 3 年度(2021 年度) 臨時総会」 開催

日 時: 2022 年 3 月 26 日 (土) 15 時~16 時  
場 所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンターおよび  
ZOOM オンライン

参加者: 出席者正会員数 33 名(うち当日出席者 9 名、ZOOM 出席者 4 名、表決委任者 20 名)  
オブザーバー 1 名

新型コロナウイルスの感染予防対策のため、サポセン会場及びオンライン会議システム併用による臨時総会を開催しました。

審議事項は「定款変更について」の一議案でした。  
第 1 号議案 定款変更について

### 変更内容

1. 第 2 章 目的及び事業、第 4 条  
(2) こどもの健全育成を図る活動



下線条文を追加挿入し、特定非営利活動の種類を追加。

2. 第 2 章 目的及び事業、第 5 条

### ⑤こどもの主体的な活動を支援する事業

下線条文を追加挿入し、新たな事業活動が可能となる。

3. 第 4 章 役員及び職員、第 13 条

2 理事のうち、1 人を代表理事、1 人以上 2 人以内を常務理事とする。

下線条文を変更し、法人運営の迅速化及び役員体制の強化を図る。

第 1 号議案は、原案通り全会一致で承認可決されました。

本定款変更は NPO 法で認証が必要な事項のため、神奈川県に定款変更認証申請を行います。



日時：2022年3月4日（金）14時～16時45分

参加方法：Zoomによるオンライン（事前予約）

参加者：45名

主催：神奈川県、認定特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

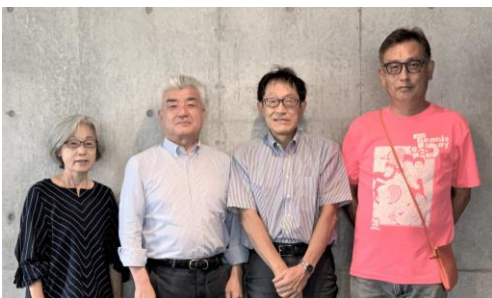
協力・後援：茅ヶ崎市、寒川町、茅ヶ崎商工会議所、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所

地域最大の宝は子どもたちです。子どもたちが自分たちの未来を考えるきっかけを創りたい。そして、そのチャレンジを大人が陰からそっと応援したい。手探りで積み上げてきたユースボランティアなどの原体験が、子どもたちの成長を促しその成果が伝播して循環する。これが私たちNPOサポートちがさきの理想とする未来です。そんな未来を、行政も企業もNPOも大学も垣根なく手を取り合って支えていきたいと願い、今回神奈川県のご協力のもと「企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング in 茅ヶ崎・寒川」を開催しました。

- 垣根なく手を取り合って地域を盛り上げたいと想っている方
- 企業活動を通じて地域に貢献をしたいと考えている方
- 地域の課題解決を目指す方
- 子どもたちが存分にチャレンジできる地域になることを願っている方

などに参加をお願いしました。

その結果、茅ヶ崎市・寒川町を中心に、横浜、横須賀、鎌倉等、神奈川県内各地域から45名の方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われ、今後の協働・連携に取り組むきっかけづくり、出会いの場、交流の場となりました。



こどもファンドは早稲田大学卯月盛夫先生へご協力のおかげに伺った2021年8月23日からスタート(左から益永、卯月先生、永島ガリガー、船越りーご)

## プログラム内容

### 1. 基調講演（早稲田大学教授 卯月盛夫さん）

「子ども・若者の主体的なまちづくり活動～ミュンヘンと高知の事例～」をテーマに、卯月さんが手掛けた「こどもファンド」について、ドイツ・ミュンヘンや高知市の事例を交えてお話いただきました。

### 2. パネルディスカッション（卯月盛夫さん、こうちこどもファンドアドバイザー 畠中洋行さん、宮城県名取市市民協働課 針生真美さん、NPOサポートちがさき代表理事 益永律子）

こどもファンドについて事例紹介、卯月先生、畠中さん、針生さんによるトークセッション、益永からの深掘り質問などをおこないました。

### 3. グループセッション

Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用して、「普段、どのような活動・事業をしていて、新たに協働したいことはどんなことか」、「どのような相手と協働したいか」をテーマにグループディスカッション。グループメンバーを入れ替えるなどし、今後の協働・連携に取り組むきっかけ、出会いの場、交流の場となりました。

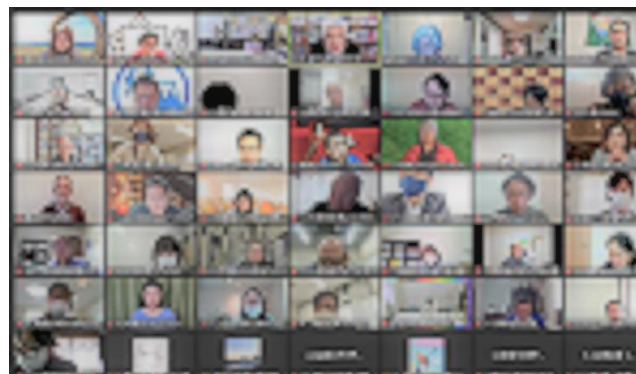
### 4. 交流タイム

卯月先生、畠中さん、針生さんより、参加者からの質問にお答えいただくなどしました。

詳細は神奈川県の下記サイトをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/f6188>

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/7929/r3chigasakisamukawajissikekka.pdf>



日頃顔を合わせる機会が少ない正会員・賛助会員の皆さま方の交流を図るためのコーナーです。

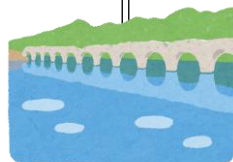
**お訊ねした事項** ※回答を控えたい質問にはお答えいただかなくて良いことにしています。

1. ご出身 2. 入会時期 3. 入会の動機・契機 4. 趣味・特技 5. 4.で最も熱中している趣味・特技について ・何年くらいなさっていますか? ・どんなところが楽しいでしょう? ・自慢されたいこと ・目標・今後のご予定 6. 好きな季節 ・その理由は何? 7. あなたにとって大切な「物」 8. どちらかと言えば、好きなのは? 「デジタル・アナログ」「自然・人工的」 9. 好きな食べ物 10. 好きな飲み物(お酒以外) 11. 好きなお酒 12. 好きな音楽 13. 座右の銘/好きな言葉 14. 尊敬する人物 15. ストレス解消法 16. その他ご自身のことで、ご紹介されたいこと

**齋藤 敏子さん**

賛助会員

1. 茅ヶ崎市
2. 2016年頃
3. 鶴嶺高校「ボランティア塾」を通じて
4. 旅行
5. 旅行、学生時代から  
知らない土地を訪れて、美しい景色や建造物などを見て、(日本なら温泉を楽しみ)、おいしいお酒と食事を味わうこと。あと数年は海外には行けないと思うので、国内47都道府県を制覇したい。列車の旅が好きなので、豪華列車に乗るのが夢。若い頃にはできなかった、ゆっくりと時間をかけた旅がしたい
6. 春  
花の香りで春を感じ、冬を越した庭の花たちが一斉に咲き始めるのを眺めているだけで幸せな気分になれる
7. 「物」ではないのですが、飼っている愛犬
8. —
9. 寿司、苺、栗
10. —
11. ワイン、ビール
12. クラシック
13. Whatever will be, will be.  
なるようになる
14. — 15. — 16. —



**高山 和久さん**

正会員

1. 東京都大田区
2. —
3. サポートちがさきの方からのお誘い。  
「食」について興味があったから
4. ゴルフ、卓球、テニス、ウォーキング、キャンプ、ガーデニング、読書、料理、ドライブ
5. 最も熱中している趣味はありませんが、ゴルフは長く続いています。  
ゴルフ場の緑  
自慢できること  
はないですが、  
長くプレーできるといい  
と思っています
6. 春  
新緑と自分の誕生日があるから
7. 物はありません  
が、家族が大切  
です
8. アナログ 自然
9. — 10. —
11. すべてのお酒
12. ジャズ、J-POPなど
13. 座右の銘ではありませんが  
「そのうちなんとかなるだろう」
14. — 15. — 16. —





## 『障がい者と家族のホンネ③』

「普通、人は若い頃に頑張って働き、老後に物心共にゆったり暮らすのだろうけれど、障がい者の場合はそうじゃない。親がいる時にしか好きなことをさせてあげられない。だから親が元気な今のうちに好きなことを十分にさせてあげたい。」昔、そう言った時に、ある福祉事業所の職員さんから返ってきた言葉があります。「そんな風に子どもに好きなことをやらせて、親がいなくなった後に彼を引き受ける自分たちがどんなに苦勞すると思っっているのですか？」

一瞬心が凍り付いたけれど、それはこういう意味でした。「障がい者が好きなことを覚えて、それをできることが当たり前だと思ってしまうと、限界のある支援の現場で希望を叶えてあげることができないから、結局、障がい者も支援者も苦しむことになる。」つまり後でできなくなるようなことは、初めから知らない方が良いという理屈でした。一見筋が通っているように見えるその言葉の中にある、支援者側の思い込み。でも好きなことができたという経験は、きっと人生を前向きに生きる力になると、親は確信しているのです。

◆上杉さんの「障がい者と家族のホンネ①」は第30号に、「障がい者と家族のホンネ②」は第31号に掲載させていただきました。

会員：上杉 桂子

## 『サポセンで見つける希望』

私は大学で社会運動から市民活動への歴史を勉強した時、人間が持つ創造力のダイナミズムに感動をしました。そして、是非現場を見てみたいと思い、サポセンに飛び込んでみました。

サポセンでは日々、地域の様々な課題を解決するために、多様なグループの方が話し合っている姿を見ることができました。そして、その重要な役割として自由に使える場の提供、情報提供、団体の相談を受けたり、人と物、ことなどを繋げるサポセンの働きは大きいと知りました。サポセンに行けば、市民社会の一員として自信を持って意見を言う、活動に参加する。自分は何もできない小さな存在だと思っっているけど、サポセンにいれば自分も何かできそう、そんな希望を持てる場だったと思います。

私も今は主婦で母親という立場でしか生きていないですが、またサポセンを訪れてみれば、何かできることが見つかるかもしれないと思うだけでも生きる希望になります。

◆大久保さんは2005年6月～2008年3月まで、学生スタッフとしてサポセンに勤務されていました。懐かしいかたも多くいらっしゃると思います。この春から韓国に行かれることになり、茅ヶ崎にお住いのうちに寄稿していただきました。



大久保 愛

## ～こぼれ話～

私たちのNPOサポートちがさきは、会員各位の不断のご努力と諸先輩方々をはじめ、多くの皆さま方のご支援のもと、この4月に創立20周年を迎えることとなります。

つきましては、20周年を記念して、さばちが内外でお世話になった方々およびお世話になっている方々に感謝の意を表すべく、本ハーモニーの2022年度発行号にてご紹介をさせていただきます。いただければ幸甚です。



～会員募集～市民の自主的な活動による豊かな市民社会の発展に寄与するという目的をご理解いただきご入会ください。入会のお申込みは佐野までお願いします。

～会費情報～ 入会金なし  
年会費＝正会員：3,000円  
(個人) 賛助会員：2,000円

正会員:42名  
賛助会員:10名  
2団体



## 今後の主な活動

- 総会 2022年5月18日(水) ※時間未定
- 運営会議：毎月1回(原則)
- 理事会：随時
- 「こどもファンド準備会」：毎月2回

**編集後記** 3月16日、福島県沖地震が発生し、茅ヶ崎も結構長い時間揺れが続き一部地域では停電になりました。近年の災害リスクの高まりを意識し、電気・水道・ガスが1か月停止を前提で我家の備えを再度、総点検しました。